

プレスリリース

2017年5月15日

クレディ・スイス証券株式会社、最高顧問に渡部恒弘氏を任命

クレディ・スイスは本日、クレディ・スイス証券株式会社の最高顧問に渡部恒弘氏を任命したことを発表しました。

渡部氏は今後、東京を拠点に、クレディ・スイス証券の投資銀行本部とプライベート・バンキング本部と密接に連携し、「Trusted Entrepreneur's Bank」(企業家に信頼される金融パートナー)として総合的な金融サービスをお客様に提供する機会を開拓していきます。

渡部氏は投資銀行業務や国際業務の経験が長く、同氏が持つ幅広い産業界の人脈を生かし、M&A(企業の合併・買収)助言など投資銀行部門での案件積み上げに寄与、さらに、スイスのプライベート・バンキング業務の豊富な経験もあり、この分野での助言も期待されます。渡部氏は日本長期信用銀行の役員のアと、UBS 信託銀行の会長として日本での本格的なプライベート・バンクの立ち上げに関わり、さらにUBS 証券やモルガン・スタンレー証券では副会長として M&A や資金調達案件の獲得を進めてきました。すかいらーくの経営陣による MBO、そして HOYA とペンタックスの合併など大型 M&A の助言に係わったほか、文化放送によるフジテレビ株の売り出しや東武鉄道、高島屋、川崎重工業、などによるユーロ円 CB 引受主幹事を獲得、さらには、リコーによる世界最大の複写機販社である北米のアイコン社の買収などを成功させました。直近では本年3月までシーヴィーシー(CVC)・アジア・パシフィック・ジャパン株式会社の会長を務めていました。

クレディ・スイスがアジア太平洋地域におけるフランチャイズを一層拡大するうえで、日本は極めて重要な役割を担っています。クレディ・スイスは、40年以上前に日本市場での事業を開始し、日本に早期に進出した外国金融機関の1社であり、長年にわたり日本で事業を展開しています。

クレディ・スイスは2009年に日本でのプライベート・バンキング事業を開始、トップクラスの外資系プライベート・バンクの1社です。東京、大阪、名古屋の3都市を主要拠点として、日本のお客様へ主要な資産クラス全体を網羅した独自の商品を提供しています。日本は世界第二位の富裕層マーケットであることから、クレディ・スイスのプライベート・バンキングは、グローバルで培った専門性を日本市場に有効活用し、お客様と長期にわたり良好な関係を維持することでビジネスを大きく成長させるなど独自の地位を確立しています。

投資銀行および株式資本市場事業では、これまで日本の顧客向けに数多くの画期的で革新的な案件を手掛けており、クロスボーダーM&Aの最近の例としては、NTTデータによる総額30億米ドルでのDellのITサービス事業の買収や、アライアンス・タイヤ・グループの12億米ドルでの横浜ゴムへの売却案件が挙げられます。東京海上がHCCインシュアランスを75億米ドルで買収した際にもフィナンシャル・アドバイザーを務め、この案件はファイナンス・アジア誌によって2015年の「Best FIG Deal」に選ばれました。

本件に関するお問合せ先

クレアブ株式会社(クレディ・スイス広報代理)和気、ローネ、渡辺

電話: 03-5404-0640

メール: credit-suisse-pr@kreab.com

クレディ・スイスについて

クレディ・スイスは、世界有数の金融機関として、プライベート・バンキング、インベストメント・バンキング、アセット・マネジメント事業を世界中で展開しています。アドバイザー・サービス、包括的なソリューション、革新的な商品を、世界中の法人および富裕層個人顧客、またスイス国内の一般個人顧客に提供しています。クレディ・スイスは、世界 50 ヶ国以上に拠点を持ち、約 47,170 人の従業員を有しています。クレディ・スイスの本拠地はチューリッヒで、世界各地にある複数の事業法人で構成されています。親会社クレディ・スイス・グループ AG の株式 (CSGN) はスイスおよび米国預託証券 (CS) としてニューヨークで上場しています。日本語サイトは、<https://www.credit-suisse.com/jp/aboutus/ja/index.jsp>、グローバルサイトは、www.credit-suisse.com。